

研究グループの大学院生募集案内

項 目	内 容
1 研究グループ名 (英文名)	植生科学とマングローブ生態系研究グループ (Vegetation Science and Mangrove Ecosystem Group)
2 教員氏名・所属	持田幸良 (教授・環境生命学専攻) 笹本浜子 (教授・環境生命学専攻)
3 研究概要	植生生態学と細胞生理学に立脚した植物的自然環境を解析・評価する。身近なキャンパス内の環境保全林の炭素固定能力を評価したり、樹木間の競争・競合関係を生理学的に解析・評価する。また熱帯・亜熱帯に成立するマングローブ生態系を対象に立地構造・更新様式・防災機能等を多面的に解析・評価を行い、耐塩性植物を組織培養しそのメカニズムを探ると共に他の植物に応用する。身近な植生から熱帯～極域の植生まで、地球上に広がる植生を科学的に解析・評価することを目指している。
4 求める人材像	何にでも積極的にチャレンジする気持ちと全体を見渡す広い視野の持ち主。骨身を惜しまない人。グループや研究室構成員と仲良くできる、協調性のある人。
5 研究環境	本研究グループには30年に及ぶ継続調査地やデータが集積されており、追跡調査が可能な研究対象地がいくつかある。またフィールドワークを行うための計測機器類もあり、グループを組んでの調査研究のためのマンパワーは豊富である。植物生理学的研究機器類は充実しており、独自の培養法を確立している。本グループの院生は関連学会で最優秀賞を受賞しており、高い評価を受けて、奨学金返還免除者も多数いる。また本グループでは JST「リスク共生型環境再生リーダー育成プログラム」の支援を受け、海外でのフィールドワークや国際学会での発表を多数行っている。
6 多様な履修システム	<ul style="list-style-type: none"> ・一般学生のほか、社会人の方も歓迎します。 ・短縮修了：正規には修了に2年間(博士課程前期)もしくは3年間(同後期)かかりますが、それぞれ最短で1年間への短縮が可能です。 ・長期履修：仕事の都合で正規の期間での修了が困難と考えられる場合は、入学時に申請すれば、正規の期間の授業料で4年間(博士課程前期)もしくは6年間(同後期)までの長期履修が認められます。
7 経済的支援	授業料免除、RA (リサーチ・アシスタント)、TA (ティーチング・アシスタント) など (他にも多数あり) の支援制度が充実しています。
8 募集スケジュール	第1次募集 (2013年10月入学及び2014年4月入学) ・出願期間：平成25年6月17日～6月20日 (書留郵便による郵送受付) 詳しい内容は下記の大学 Web ページを参照してください。 http://www.eis.ynu.ac.jp/applicant/index.html
9 問い合わせ・連絡先	持田幸良 (教授) 電話: 045-339-3414, メール: mochida@ynu.ac.jp